

15 自然環境、環境保全

現状

(自然環境)

- 当町は、檜山道立自然公園の特別区域に指定されている「かもめ島」をはじめ、国道沿いに伸びる美しい海岸や緑豊かな山林など多くの自然環境を有しています。これらの自然環境を守るため、住民参加による植林活動などを行っています。
- 町内には飛砂を防ぐために先人の努力によって造成された砂坂海岸林があります。

(環境保全)

- 環境保全のため、海岸漂着物の除去の取り組みや不法投棄対策を実施しています。
- 大気・水質・土壌の汚染、騒音、振動、地盤の沈下、悪臭などの公害の防止についても、北海道と連携しながら推進しています。
- 風が年間を通して強いという、当町の自然特性を生かしたローカルエネルギー資源の活用を図るため、平成10年には五厘沢地区に民間企業が400kw級2基の風力発電施設を整備しました。その後、平成14年4月に元山地区で750kw級28基(21,000kw)の風力発電事業が第3セクター方式で事業化しました。さらに、平成20年から日本風力開発(株)により、2,000kw級10基の風車建設が水堀地区において実施され、平成23年には、売電開始となる見込みです。

課題

(自然環境)

- 先人の貴重な財産として、砂坂海岸林を保全し継承していく必要があります。
- 柳崎地区でも飛砂防備林事業を進めるとともに、地域住民の協力を得ながら森林の保全や維持管理を行っていく必要があります。
- 海岸線では漂着ごみや流木の蓄積、山林では不法投棄などが見られます。きれいな海や山を後世に引き継ぐためには、地域全体の協力を得ながら取り組む必要があります。

(環境保全)

- 風力発電のある町として、環境保全の取り組みを推進していく必要があります。
- 風力発電施設の立地場所が農業地域でもあるため、この事業をきっかけにし、農業振興策の新たな展開を図ることが必要です。

課題解決に向けた基本方針

- ・ 自然環境の保全に向けた取り組みを進めます。
- ・ 環境保全に関する意識を高揚し、エコ活動を普及します。
- ・ 風力発電による環境保全の意識啓発、環境保全活動を促進します。

具体的な施策

自然環境の保全	・ 森林資源の保全 ・ 海岸漂着物等対策の推進（北海道グリーンニューディール基金活用し、クリーンアップ作戦と連動し、海岸清掃等の実施） ・ 地域ぐるみで行う環境（自然）教育の推進、啓発 ・ 植林、育林活動への参加促進 ・ かもめ島、海岸線などの環境美化活動への参加
	・ 環境共生に向けた取り組み ・ 環境保全に関するエコ活動の普及促進 ・ 風力発電所立地地区の振興策の推進（農業振興での活用など）

